

【CL名】木下 さん 【解答者】アオちゃん 【作成日】2023年11月3日 【作成時間】35分

【設問1】事例記録中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

ご主人から転職かになるかもしれないと告げられ、今の仕事は旅行が好きで相談者になって楽しく、顔が臭えてやりやすいので(仕事は続けたい一方、ついてきてほしい)と強く言うご主人は不安だろうと思われている。

【設問2】1行目:良かった点、2行目:悪かった点。この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) 以前の仕事と今の仕事の言動から相談者の仕事観が伺えたので、信頼関係が構築できている点
(悪) 今の仕事の楽しさやうれしさに繰り返し焦点を当てしまい、相談者に同様な内容を答えてしまっている。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 転職かについていくがどうかの判断基準となる、仕事や家族に対する価値観の自己理解不足と、転職の言葉も転職かに対するご主人の思いを知るためのコミュニケーション不足が見受けられる。

②その根拠 「子どものことはちゃんと気になる」、「(ご主人について)仕方ないのね」、「仕事を続けたいのが本音」という発言から自己理解不足、「夫も不安だいたい」、「理由は聞けていないし、夫には言えないか」という発言から、ご主人について推測が多く、ご自身の思いも伝えられていないためコミュニケーション不足。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

ご主人の転職の話をお聞きし、今の仕事を辞めたくない一方、ご主人も不安だろうと感じる相談者に寄り添い、信頼関係構築に努める。(仕事と家庭の両立について相談者がどのような考えや価値観をお持ちなのか傾聴し、内省を促すことで自己理解を深めていくこと。また、転職かについての情報やご主人が転職かについてどう考えているのか知るために、コミュニケーションの機会を提案する。そこで、相談者の仕事や家庭についての思いもご主人に伝えるように促す。これにより、相談者がワークライフバランスを考慮した上で、転職かについていくがどうかの主体的な意思決定を支援する。

注: 解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙